

公益社団法人砥粒加工学会 関西地区部会報告

令和7年度(2025年度)地区部会大会および第1回研究会を終えて

～ 関西大学 千里山キャンパス(大阪府吹田市) ～

1. はじめに

去る令和7年(2025年)2月21日(金)に、関西地区部会企画として、関西大学 千里山キャンパス(大阪府吹田市)において令和7年度地区部会大会および第1回研究会が開催されました。総勢26名の参加で盛況のうちに終了しました。

以下にその概要を報告します。

2. 地区部会大会

地区部会大会は、桐野宙治 企画幹事(ANAX Optics(株))の進行により、赤松猛史 地区部会長(株MOLDINO)の挨拶で始まりました。令和6年度は、全4回の研究・見学会を開催し、いずれの企画も多くの方のご参加をたまり、技術交流会を含め活気ある地区部会活動の運営ができたことについて、感謝を述べられました。また、今年は、9月3日～5日に関西大学においてABTEC2025が開催されること、さらに、大阪・関西万博も催されることもあり、関西が益々熱くなるとの期待が込められました。

その後、桐野宙治 企画幹事から令和6年度の事業報告があり、松本有司 会計幹事(関西大学)から収支計算報告および大橋一仁 会計監査(岡山大学)による会計監査報告書について代理報告が行われました。

続いて、令和7年度の事業計画ならびに収支予算書について同様に報告が行われ、令和7・8年度の地区部会長を務める古城直道氏(関西大学)からの挨拶では、赤松前地区部会長の後を受けて、引き続き活発な地区部会活動にしていく抱負が述べられました。最後に、地区部会役員名簿の確認を行い、予定通り終了しました。

3. 研究会

地区部会大会に引き続いて、第1回研究会が開催されました。関西地区部会に所属され、近年、砥粒加工学会の各賞を受賞された2名の講師による最新の研磨技術に関する講演会を企画し、2024年度に奨励賞を受賞された古木辰也氏(中部大学)と、2020年度に技術賞を受賞された川波多裕司氏(株クリスタル光学)にご講演いただきました。

初めに、古木辰也氏より「磁気援用研磨における研磨量予測と高能率化に関する研究」と題して、ご講演では、エンドミル工具による磁気研磨法による魔鏡創製法について、研磨量予測モデルによる鏡面化評価、Ti-6Al-4V材料に対する適用性を示されました。また、研磨面のオンマシン監視として、画像の特徴を基に、機械学習による表面状態推定の新しい手法を提案されました。

続いて、川波多裕司氏より「砥粒の滞留性に着目した研磨工具の開発」と題して、ご講演では、ラッピング加工中の砥粒の挙動を観察した動画を示しながら、繊維を含有した新しく



中部大学 古木辰也 氏



(株)クリスタル光学 川波多裕司 氏

開発した定盤は、研磨能率が向上するとともに定盤の耐摩耗性も向上することを示されました。後半は、新たに開発された、研磨性能を向上させるスプレー剤「MAGI-Poly」の効果について解説があり、「MAGI-Poly」を吹き付けた研磨パッドでは、研磨能率が約3倍安定し、また、スウェードパッドやピッチ工具にも効果があることが示されました。

4. おわりに

当日は、ABTEC 実行委員会も開催され、行事日程や準備状況、また、講演会場や展示スペース等の確認を行い、開催に向けて議論が行われました。

研究会終了後には、場所を移して技術交流会が開催されました。講師を交え参加者同士で現在の取り組みや課題についての活発な意見交換、また、ABTEC2025の準備や今後の地区部会活動の取り組みについても意見が交わされ、有意義な場となりました。

次回の関西地区部会 研究・見学会は、7月18日(金)に大阪府摂津市の三星ダイヤモンド工業(株)様において開催を予定しています。

(文責:藤田隆, 松本有司)